



ひまわり



先日行われたファミリースポーツデーでは、保護者の皆様の温かいご声援ありがとうございました。子ども達が「やりたいこと」を自分たちで話し合い、当日に向けて期待を持ち準備してきた成果が発揮された一日になったのではないかと感じます。スポーツデーの次の日にも「スポーツデー楽しかったね!」「またドッジボールしたいね」などの声が聞かれ、子ども達の充実した気持ちが伝わってきました。スポーツデーを経験し、また一つ心が大きく成長したように感じます。



～秋の自然探し～

だんだんと暑さが和らぎ秋らしい風が吹く日も多くなってきました。過ごしやすい気候となり外へ出て遊ぶ事も多くなってきました。園庭や散歩コースでは夏には見られなかった虫たちがたくさんいて「ここになんかおる～」 「見てショウリョウバッタ捕まえた!」「カマキリおったよ!」「トンボ捕まえてみるわ!」と夢中で触れ合い、そして観察し終わると「命あるしお家返すわ」と小さな命を慈しんでいます。また空を見て「雲動くの早い!」「なんか雲長いよ!全部繋がるとるんじゃない?」と雲の動きや大きさに気づき、また風に揺られている木の音をじっくりと聞いたり、草むらから聞こえるコオロギの鳴き声に耳を傾けたりもしていて、みんなで発見した事を楽しんでいます。今後も戸外での活動が多くなり、秋らしい物をもっともっと発見しみんなで喜びや感動を共有していきたいなと思います。



こんなところに虫がいっぱいいるんだよ



見つけられるかな?



ダンゴムシやカマキリ等いっぱいいます!



～まだまだ泥遊びも楽しんでいます～

園庭に出ると自然と井戸水ポンプを使って、水を出し泥遊びが始まります。今子ども達が夢中になっているのは、砂場にスコップで穴を掘りそこに水を持って来て流し込む「温泉作り」や園庭に落ちている葉っぱなどを活用しながら作る「お料理ごっこ」です。温泉作りでは、みんなで協力し合いながら穴を掘り小さい子たちが「一緒にしたい」というと「いいよ～」と快く混ぜてあげている姿もあります。温泉が出来ると「入ってみよう!」とザブンと飛び込んだり「足湯～!」と言って足だけ入れてみたりしながら楽しんでいます。「ひまわりの湯」と名前をつけ愛着も出てきている様子です。お料理ごっこも本格的で一人が藻のような物を見つけると「わかめみたい!」と言って泥水を使って味噌汁を作り始め「出来た～!食べてみて～!」と持ってきたものを見ると、まるで本物のようなわかめの味噌汁でした。「本物みたいでお腹減ってくるね～」と言うと「わかめの味噌汁食べたいね～」とみんな共感していました。たわいのないものでも子ども達の発想力でとても面白いものになり、この発想を大事にしていきたいなと日々感じています。



水運ぶぞ～



お味噌汁です



きもちい～

ひまわりの湯で～す

